

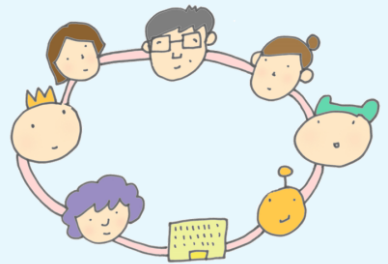
# 子ども虐待事例の評価・援助スキルの研修会

—臨床の力をつけるための連続企画(第10回)—

子ども虐待に対して、児童相談所だけでなく市町村などで多機関での連携が始まっており、事例の評価をもとにした的確な支援計画や役割分担の重要性が増しています。私たちは、JST/RISTEX（科学技術振興機構／社会技術研究開発センター）の助成を受け、虐待事例データベースや乳幼児健診データからのエビデンスに基づく養育困難・虐待リスク評価・支援システムを開発しています。そのシステムを皆さんに紹介するとともに、実際の事例を検討して、虐待対応について常日頃感じていることを話し合い、評価・対応スキルアップを目指す集いを定期的に行っております。子ども虐待事例にかんして、演習を用いながら、エビデンスにもとづく支援のポイントを学び合い、参加者同士が経験や情報を分かち合える場を目指します。援助者として、子どもの問題に関わっている方で御興味のある方は、ぜひご参集ください。

日時：平成30年2月22日（木）

18：30～20：30（18：05開場）



内容：1. 子ども虐待事例の提示

2. 事例を多面的に理解しよう（演習）

※エビデンスにもとづく支援ポイント等もご提供します

3. わかちあい

場 所：筑波大学 つくばキャンパス 総合研究棟D棟115号室

<https://www.tsukuba.ac.jp/access/gmap/gmap.php?i=154020>

★駐車場は、上記の総合研究棟D棟から見て左ななめ向かいにあるゲートのある駐車場のゲートを17時半以降の時間に開けておいてもらいますのでご利用ください（添付のアクセス図を参照）。

参加資格：基本的に援助職で守秘義務のある方であれば、どなたでもご参加いただけます（迷う場合は、下記の森田にお問い合わせください）

参加費：無料

手続き：資料の準備のため、下記のファックスかメールアドレスに参加のご連絡をお願いします（氏名、所属、職種をお書き下さい）。

事前申し込みが間に合わない場合等は、当日飛び入り参加もOKです。

主 催：筑波大学医学医療系 森田展彰

連絡先：筑波大学医学医療系 社会精神保健学研究室

メール:nobuakim@nifty.com 電話・FAX 029-853-3099



